

静岡県サッカー協会では「サッカーを通じ、県民の心身の健全な発達と静岡県のスポーツの振興に貢献し、豊かなスポーツ文化を醸成する」の理念もと、PRIDE SHIZUOKA 「SHIZUOKA SPIRITS & SHIZUOKA WAY」のビジョンを合言葉に、「競技力」「求心力」「ブランド力」の継承・発展を図ろうとしています。

現在、コロナウィルスの影響は大きく、感染収束は不透明ですが、引き続き出来る限りの対策を講じ、サッカーの「普及」「強化・育成」に向けて、力を合わせ、努力を続けていこうではありませんか。

以下、本年度の事業推進の基本的考え方と重点施策を提案します。

1 基本的考え方

- ① 県協会、他支部協会、種別委員会等との連携及び支部内の各種別・委員会及びJリーグ清水エスパルス等との相互協力のもと、中東部支部全体として積極的な事業展開を図る
- ② 清水協会事業との円滑な事業展開を図る
- ③ サッカーに親しむ子供を増やし、次代を担う選手・指導者の育成に注力し、併せて保護者をはじめとした関係者の理解・協力体制の構築を図る
- ④ SDGsの活動を意識し、障害の有無と種別を超えたユニバーサルスポーツとしてのサッカーの定着を目指す
- ⑤ コロナ対策に取り組み、より安心・安全、持続的成長につなげる環境づくりに取り組む
- ⑥ 収入増・経費節減等、より効率的・効果的な事業運営を目指す

2 重点施策

- ① 県協会支部としての積極的活動
 - ・ 支部主管事業の積極的取組
 - ・ 清水協会と連携し、県協会の「SDGs」活動への参画
- ② 安心・安全な環境の構築
 - ・ 新型コロナウイルス対応の徹底
 - ・ 地震・津波対策の推進、ゴール等安全対策の徹底
 - ・ AED設置の推進
 - ・ 熱中症対策の推進
- ③ 競技力・技術力向上
 - ・ 指導者育成、トレセン活動の充実
 - ・ 国内交流・海外遠征等による選手・指導者等の育成強化
 - ・ 支部社会人リーグから県リーグへの昇格チームの輩出
 - ・ 審判員の増加、フットサル審判の育成、競技会派遣体制の充実
- ④ 普及とリスペクトの推進
 - ・ 競技人口の拡大 特に未就学児童・小学生の登録者増加対策
 - ・ ウェルフェアオフィサー研修会実施等による指導者・関係者・保護者等の意識向上

⑤ 支部の在り方の検討

- 支部としての果たすべき責任・協力体制の整理及び組織・体制構築の検討
- 定年制の制定に伴う、組織・役員体制の検討・進化
- チーム・選手減少期における、あるべき将来像の検討

⑥ 清水エスパルスなどとのホームタウン推進

- 清水エスパルスなどとのサッカーによるまちづくり推進事業に、積極的に参画・協力

⑦ 競技会運営等

- 天皇杯全日本サッカー選手権大会
- 家康公記念杯清水スーパーシニアサッカー大会
- その他大会運営

⑧ 広報活動の充実

- ホームページの活用等による支部等活動の広報の充実